

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

# ジェット燃料パイプ埋設工事強行許すな！

## 日刊 動労千葉

80.6.18

NO. 459

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（電話）二五八〇九（公衆電話）22七二〇七

### 6・15幕張現地集会開かる

六・一五パイプライン建設阻止、突貫工事粉砕幕張現地集会は、三里塚反対同盟を先頭に千八百名の労働者、学生、沿線住民が結集し、大成功をおさめた。動労千葉も総武ブロック青年部を中心に五十五名が参加し、共に闘いぬいた。来年三月の暫定貨車輸送期限切れを九ヶ月後にひかえているにもかかわらず、ジェット燃料パイプラインは、沿線住民の反対の声の前期内完成がほぼ決定的に絶望視されている。われわれは、貨車輸送阻止の闘いと同質の闘いとして危険きわまりないパイプライン埋設工事強行阻止を闘い抜かなければならない。とりわけ「五五・十」、「五六・三」へ続くこの闘いは、動労大改革、国鉄労働運動の戦闘的再生への展望をきりひらく動労千葉の路線をかけた闘いである。

#### 不当処分粉砕まで闘い抜く

― 布施組織部長決意表明 ―  
集会は、主催者のあいさつのち、この日、六〇年安保闘争一六・一五国会突入とその闘いに對する樺美智子さん虐殺二十周年にちなみ、集會参加者の中から、六〇年安保闘争を闘いぬき、現在もあらゆる場所で闘いぬいている人たちが全員を演壇にむかえ、その代表から「六〇年安保闘争の継承の道は三里塚のなかにあります」との力強い発言をもって開始された。

次に発言にたった動労千葉布施組織部長は、「私は処分を粉砕し、絶対にハンドルを奪いかえず同時に、この処分粉砕闘争勝利の道は、三里塚の勝利と『本部』反動分子との闘いに勝利することだ」と免職処分を粉砕して闘いぬく決意が表明され、会場からはひととき大きな拍手がおくられた。

#### 鮮明なパイプラインの危険性

― 生越和光大教授講演 ―

つづいて、東京実行委員会代表浅田光輝氏の経過報告のち、パイプライン花見川ルート上の危険性について和光大学教授・生越氏よりの講演が行われた。生越氏は、「パイプラインはもともと砂漠や荒野などの、人間がほとんど住んでいない場所を輸送するために開発された技術であり、しかも、地震のおこらない場所においてしか使用されていない。日本のような地震国、しかも人口密集地において使用された例はない。更に花見川ルートは地層も不安定な軟弱地層であり、公団のいうような『安定した洪積砂層』などないことが明らかにされた。このような危険なパイプラインの元凶である空港そのものの廃港まで闘おう」と、その危険性を鮮明に喝破した。

#### パイプライン沿線デモを貫徹

次に各住民団体を代表して、パイプライン埋設阻止千葉県共闘の砂田氏、パイプラインに反対す



パイプラインの危険性を講演する和光大教授・生越氏

る地元住民として動労OBの山本氏、鹿島ジェット燃料輸送に反対する会澤氏、沖繩民権の会古波津氏、病気をあしてかけつけてくれた砂川町基地拡張反対同盟代表宮岡氏の各氏から発言をうけ最後に、動労千葉関川委員長、三里塚反対同盟を代表して、北原事務局長、長谷川婦人行動隊長、敷地内市東東市氏の決意表明のち、集會宣言を全体の拍手で確認し、集會を終了した。集會宣言では、①パイプライン闘争を今日を起点に大きく上げ二期工事を阻止すること、②韓国―光州蜂起と連帯する道が日本の軍事大国化の前に敢然と立ちだかる三里塚闘争のなかにあること、③「本部」反動分子―国鉄当局による動労千葉への不当処分攻撃、革マル派による悪らつな三里塚敵対を粉砕すること、④三里塚とならぶ関西新空港閣議決定阻止にむけて七・一三中央闘争に総決起することが確認された。

集會後は、花見川ルート沿いに意気高くデモを貫徹、人口密集地帯のすぐわきを通るパイプラインの危険性を目の当りにするとともに闘いへの決意を打ち固めた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆